

2019年2月吉日

成蹊の小学生、中高生、大学生が共に学ぶ「成蹊オープン・ゼミ」オーロラを通じて宇宙や地球を知る「オーロラと宇宙」シンポジウム開催【取材のご案内】日時：2019年2月15日（金）16：30～ 場所：成蹊学園

成蹊学園（東京都武蔵野市/学園長：亀嶋庸一）では、一貫連携教育の取り組み「成蹊オープン・ゼミ」の一環として、近隣住民、成蹊に通う小学生、中高生、大学生、大学院生を対象とし、オーロラを通じて宇宙や地球を知ることが目的とした『オーロラと宇宙』シンポジウムを、下記の通り開催いたします。

京都大学 理学研究科 地球惑星科学専攻 齊藤昭則准教授と国立極地研究所 片岡龍峰准教授、江尻省助教(第58次南極地域観測隊員)、成蹊大学 理工学部藤原均教授によるオーロラや宇宙空間に関する講演をはじめ、南極昭和基地での生活などについて紹介します。また、来場者が南極の氷を触ってみる貴重な体験ができるほか、南極地域観測隊員が現地で着用した防寒具一式の展示も行います。『オーロラと宇宙』シンポジウムは今年度で4回目の実施となります。

## — 記 —

オーロラを通じて宇宙や地球を知る『オーロラと宇宙』シンポジウム

日 時：2019年2月15日（金）16：30～18：00

場 所：成蹊学園 本館大講堂（東京都武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1）

対 象：近隣住民の方、成蹊学園関係者(児童・生徒・大学生・大学院生・保護者・教職員)

主 催：成蹊学園 / 成蹊学園サステナビリティ教育研究センター

協 力：国立極地研究所

プログラム(順序は変更の可能性あり)：

○齊藤昭則准教授による講演(デジタル4次元地球儀「ダジックアース」)

- ・宇宙から見た地球：オーロラ、雷、夜の街灯りなど
- ・宇宙ステーションと地球・宇宙科学、惑星の姿など

○片岡龍峰准教授 藤原均教授による講演

- ・オーロラのなぞ
- ・北極の自然やオーロラ観測のお話など

○江尻省助教による講演

- ・南極の自然、日本の南極観測の取り組みなど
- ・昭和基地での生活など

※講師プロフィールは次頁に記載



ダジックアースを用いた解説

**【ご取材に関するお願い・ご注意事項】**

申込方法：2月14日（木）までに、成蹊学園 広報グループ（0422-37-3517）にお申込みください。

本件に関する報道機関からのお問い合わせ

成蹊学園 広報グループ 担当：栗林 TEL: 0422-37-3517 Email: koho@jim.seikei.ac.jp

● 講師プロフィール

○齊藤 昭則（さいとう あきのり）

京都大学 大学院理学研究科(地球物理学教室)

○江尻 省（えじり みつむ）

国立極地研究所・第58次南極地域観測隊員

○片岡 龍峰（かたおか りゅうほう）

国立極地研究所

○藤原 均（ふじわら ひとし）

成蹊大学 理工学部 / 成蹊学園サステナビリティ教育研究センター

---

【関連事項】

● 成蹊学園の一貫連携教育の取り組み「成蹊オープン・ゼミ」について

教育界において高大連携が浸透し、小中連携や中大連携も広がりつつある中、成蹊学園では、小学校・中学校・高等学校・大学がワンキャンパスの中で活動する歴史と利点を活かした一貫連携教育（学校間連携）の取り組みとして、「成蹊オープン・ゼミ」を2015年度から実施しており、『オーロラと宇宙』シンポジウムもその一環となります。「成蹊オープン・ゼミ」のその他の代表的なイベントとしては、成蹊中学3年生が成蹊大学のゼミ・研究室を体験することで、最先端の科学技術や大学の学問に触れ、自らの将来や進路を考え、日々の学習をさらに深い学びにつなげられることを目的とした「中3ゼミ」などがあります。

● サステナビリティ教育研究センター(ESDセンター)について

2018年4月、小学校から大学院までの連携によって持続可能な開発のための教育（ESD）を学園全体で進めることを目的として、成蹊学園サステナビリティ教育研究センター（ESDセンター）が発足しました。ESDセンターでは、成蹊学園が創立以来取り組んできた環境教育（実験や観察、校外学習を通じた本物にふれる体験学習）を推進するために、小学校から中学・高等学校、大学（大学院）までをつなぎ、また、成蹊とさまざまな学校や研究機関、市民などを結ぶハブ（拠点）としての役割を目指しています。ESDに関連する様々な活動を通じて、児童、生徒、学生の将来を考える力や意識の向上、そして、学園内の各校や地域における知的好奇心の向上と持続可能な社会の構築に貢献します。